

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	農地・水・農村環境保全向上支援事業費				
担当課係名	農林課	課	農村整備係	作成者	大澤龍太郎
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち			総合計画の ページ
	基本計画	特色ある農業の振興			
		主要施策	営農体制の整備		
予算費目	一般	会計	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	5 目 農地費
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度			新規／継続の区分	
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理				
根拠法令等	農地・水・農村環境保全向上対策実施要綱				
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地域ぐるみでの効果の高い共同活動に取り組む組織に対して交付金を交付する
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	地域において農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図ることを通じ、地域振興に資する為地域ぐるみの効果の高い共同活動と、農業者ぐるみの先進的営農活動を支援する
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	①農地・農業用水等資源の適切な維持管理・保全(基礎部分)②前記の質的向上を図り、施設の長寿命化を図る(誘導部分)③生態系保全・水質保全・観形成等農村環境保全活動(農村環境向上活動)の各テーマからなる活動

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	対象事業地区数 31	地区		31		
	成果指標	事業対象面積 2266	ha		2,266		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)				25,622		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金			1,196		
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源			24,426		
	人 件 費 (B)		—		24,213		
	職 員 数		—		3.0		
	職 員 平 均 人 件 費		—		8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—		49,835		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		— —		1,607,581	
		市民1人当たりのコスト(円)		—		1,587	

【事務事業の今までの成果】

昨年より、農家対象の農業政策では無く、広く地域住民を対象に実施する地域政策区ととらえ、全国的に行政と地域活動組織と密接に連携し、事業推進している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	本施策については、各自治体で地域協議会をつくり事業推進している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	事業事務の簡素化及び次期対策の延長希望でている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	概ね、好評を得て、2年目に入っている
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	資源の適切な保全管理を行うとともに、農村環境の保全等、引き続き事業の推進が必要と考える。

一次評価診断図

